

# 令和8年度 学校経営計画

岡山県立倉敷まきび支援学校

校訓:夢へ みんなで まっすぐに

## ○学校教育目標

一人一人の教育的ニーズに沿って、持てる力を高めるための適切な教育を行い、自立し社会参加できる児童生徒を育成する。

## ○本校のミッション（使命、存在意義）

- ・児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた学習活動及び支援を行うことにより、生涯にわたって豊かな生活を送ることができる児童生徒を育成する。
- ・県南西部における特別支援教育のセンター的役割を果たし、地域の特別支援教育の充実と共生社会の実現に向けた取組をすすめる。
- ・関係諸機関と連携し、地域に貢献し地域とともに歩むコミュニティスクールとして社会に開かれた学校を目指す。

## ○学校内外の環境分析

### 【学校内】

- ・全校の組織力を活かした学校運営のもと、教育活動の一層の充実を図る必要がある。
- ・知的障害部門と肢体不自由部門の小学部から高等部までが設置されており、知的部門高等部には就労による社会自立を目指す職業コース（全県学区）も設置されている。本年度の全校児童生徒数は384名で県内特別支援学校では最大規模であり、各部の目標や障害の種類・程度等を踏まえた教育課程の編成と、一人一人のニーズに応じた柔軟で多様な指導・支援を工夫する必要がある。
- ・保護者は学校教育に対して協力的であり、学校教育への評価も高い。一人一人に応じたきめ細やかな指導や丁寧な説明が求められている。
- ・PTAと学校は連携協力の体制にある。PTAの存在意義を再認識した上で、地域と連携しながら、子どもたちの安全を守り、充実した教育活動を行うことができる環境を整え、支えるPTA活動の再検討を行う必要がある。
- ・教職員は、PBL(課題解決型学習)の推進や ICTの活用、指導内容の工夫、自立活動検討会など、時代の要請に応じた新しい試みにも取り組んでいる。
- ・業務の精選や効率化、時間管理等を適切に行う働き方改革を進めているところである。

### 【学校外】

- ・通学区域は4市1町と広く、特に職業コースは全県学区となっている。学校が位置する真備町は、本校のみならず幼小中高全ての教育活動に理解があり、協力的である。また、近隣の大学との連携関係も開校以来続いている。
- ・学校近隣には、生活に根ざした学習活動を行える商店や事業所、公共施設、駅等があり、地域型実習や販売学習に理解がある。
- ・就学前から卒業後までの生活を見据え、各地域の自立支援協議会等、関係機関との連携を重視してきた。今後もさらなる連携を継続していく必要がある。
- ・通学区域内の幼・保・こども園や、小、中、高校へのコーディネーター派遣や教育相談等を継続して行っており、地域のセンター的役割を担っている。
- ・地域の方々と災害経験や教訓などを踏まえた防災教育の推進に取り組んでいる。

## ○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、めざす姿）

### (1)めざす学校像

- ・生涯にわたって豊かに生きる力を育む学校
- ・社会に開かれ、貢献する学校
- ・児童生徒・保護者・教職員がともに育つ安全安心な学校

### (2)めざす児童生徒像

- ・夢をもち、挑戦し続ける児童生徒〈意欲〉
- ・すすんで挨拶ができる児童生徒〈人とかかわる力〉
- ・多様性を認め合い、地域社会の一員として、多主体的に社会参加できる児童生徒〈自立と社会参加〉

### (3)めざす教師像

- ・多様性を認め合い、人権を尊重し、児童生徒の個性や能力を適切に把握し伸ばそうとする教師
- ・自らの資質・能力の向上に努め、学び続ける人間性豊かな教師
- ・信頼され、チームとして協働する教師

## ○令和8年度の具体的な学校経営目標 ～学校教育目標実現のために～

### (1)児童生徒の能力や可能性を伸ばしキャリア発達を促す教育課程と指導支援の充実

- ・個別最適化と協働的な学びを具体化した授業づくり(子どもを中心とした授業改善と評価)
- ・学部間の系統性や一貫性、授業の中の主たる教科の指導内容を明確にした指導・支援(カリキュラム・マネジメントによる年間指導計画の見直し)
- ・児童生徒の学びやすさに基づいた学習活動・指導支援の充実(自立活動の充実と時間における指導の検討・ICTの活用)
- ・生涯にわたって豊かに生活するための心身の育成と生徒指導の充実

### (2)地域や各関係機関との連携強化と地域への貢献

- ・学校・家庭・地域が協働するコミュニティスクールの実現
- ・開かれた学校づくりのためのカリキュラム・マネジメント(生活科や職業科、特別活動等を中心とした共同学習の検討)と、地域資源を活用した教育活動(地域や企業等との密接な連携)
- ・個に応じた支援体制と進路指導の充実(医療や福祉、労働等と連携したケース会開催やネットワークの活用)

### (3)安全安心で健康的な学校生活の充実

- ・人権尊重の教育の徹底(受容と共感、プライバシーの尊重、いじめの認知と対応・予防、虐待の早期発見と対応・防止等)
- ・危機管理意識の向上(災害対策・事故防止・医療的ケア・アレルギー対応・給食対応・感染症予防・スクールバスや自力通学の安全等)
- ・大規模自然災害に備えた特別支援学校防災対応アプリの活用(引き渡し訓練、スクールバス乗車時の訓練等)

### (4)学校運営組織の活性化と指導力の向上

- ・全員活躍によるチーム学校
- ・コンプライアンスの遵守と同僚性のある職場作り(認め合い、助け合い、高め合う明るい職場)
- ・ウェルビーイングプロジェクトを継続し、働き方改革(校務の情報化と効率化、生成 AI の活用)と学校課題の解決を一体的に取り組む。
- ・専門性と指導力向上のための研修機会と自己研鑽の時間確保